

News Release

2023年2月3日

株式会社日立プラントメカニクス

価値提供型事業

『スマートクレーン(人検知)』に関する論文が月刊誌『クレーン』1月号に掲載されました
AIを活用して人とつり荷の衝突回避をアシスト

株式会社日立プラントメカニクスは、日立天井クレーンの100年を超える歴史を受け継ぐクレーンメーカーとして、安全・安心を重視した製品を開発しております。

この度、(一社)日本クレーン協会が発行する月刊誌『クレーン』1月号に、価値提供型クレーンの三本柱(クレーン搬送管理システム「CrWCS」※1、遠隔監視、スマートクレーン)のうち、スマートクレーン(人検知)に関する論文が掲載されました。

価値提供型クレーン

項目	No.	メニュー		
クレーン搬送管理システム「CrWCS」	1	自動範囲の拡大	自動範囲の拡大	上位システムと連携し前後工程を含めた搬送自動化
			自動入庫、自動車載	形状認識機能との組み合わせでさらに車載まで自動範囲を拡大
	搬送効率の向上	高速搬送	機械学習によるサイクルタイム短縮	在庫情報のコイル高さを考慮した3D最短搬送による
			サイクルタイム短縮(従来比10%短縮)※2	
遠隔監視システム	2	稼働状況確認		遠隔からクレーンの稼働状況を見える化 ・稼働時間 ・稼働回数 ・異常履歴 ・映像データ ・振動データ ・温度データ
		リモートサポート		弊社からのリモート接続によりトラブル原因の早期究明
スマートクレーン	3	安全・安心	振れ止め	熟練者でなくても安全にクレーンを操作
	4		人検知	人とつり荷の衝突回避アシスト
	5	省エネx ・CO2削減	回生付コンバータ	巻き下げ時や横行・走行減速時の回生エネルギーを再利用
	6		日立スーパートルクリール	必要最小限のトルクを与えるミニマムテンション制御
	7		効率化	軽負荷倍速

※1 : CrWCS は日立プラントメカニクスの登録商標です。

※2 : 当社比(条件により短縮時間は異なります) 3D最短搬送機能は、2023年10月販売開始予定。

日立プラントメカニクスは、これからもクレーン市場のトップカンパニーを目指して、
『“運ぶクレーン” から、“システムで考える空中搬送” へ』
をスローガンに、お客様の搬送作業に付加価値を提供します。

【（一社）日本クレーン協会について】

（一社）日本クレーン協会は、月刊誌『クレーン』やホームページを通じてクレーン等の設計・製造・使用等に関する技術、基準、法令・通達、安全対策、災害事例及び災害統計等を紹介して、クレーン等に係わる技術の向上と安全意識の高揚のための広報活動を行っています。また、ポスターやステッカーを会員事業場や関係方面に配付し、クレーン等による労働災害の防止を徹底するよう呼びかけています。

以上